



●稲敷市・姉妹都市交流委員会広報紙●

姉妹都市

— 世界は君を待っている —

Sister Cities



サーモンアーム

No. 14
2009. 3



高城市長の表敬訪問



▲さよならパーティにて“よさこいソーラン”の披露

果敢に取り組んだ異文化への挑戦

～高城市長の表敬訪問～

多忙を極める高城市長の表敬訪問が実現しました。稲敷市とサーモンアーム市との交換交流を締結して3年、昨年度はサーモンアームの市長マーティ・ブーツマ氏が当市を訪問されたことは記憶に新しいところです。これに呼応して、本年度は8月に親善団に同行するという形で高城市長の表敬訪問が実現し、両市の交流が更に確かなものになりました。

本年度は、中1から高3までの親善大使19名が8月6日に出発して16日までの行程で、ホームステイとバンフ観光をしてきました。

事前に特訓していった“よさこいソーラン”をステージいっぱいに踊り、さよならパーティを盛り上げました。言葉のハンデをものともせず、果敢に取り組んだ異文化への挑戦に心から拍手を送りたいものです。



交流をつなぐ

派遣団長 関川 昭

第4回青少年親善大使の団長として、素晴らしい体験を得ましたこと、関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。団員と共に心を一つに人々との交流、異文化との交流、大自然との交流を学んで参りました。日々貴重な経験は、生涯に残ることと思います。この歴史と伝統をつなぎ、ますます充実させていきたいと願っています。

サーモンアーム到着



ようこそカナダへ

友情の門

赤い制服でお迎え



中学校訪問



中学校でスポーツ交流

ハウスポート



ポートの上ではじける笑顔

コロンビア大氷原観光



光まばゆい 大氷河にて

市役所訪問

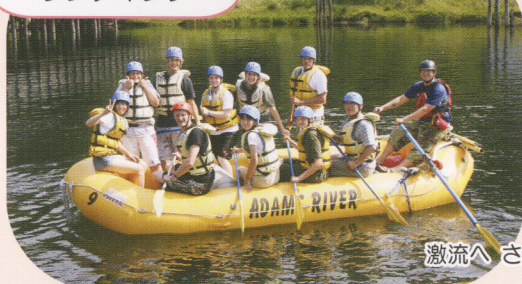


日本からの記念品と共に



シティーホールにて

ラフティング



激流へ さあ出発

さよならパーティ



手作りのケーキで!



派遣 (H20.8.6~8.16)

Salmon Arm ひびけ若人の声 ふれあう笑顔 Inashiki

受入れ (H20.3.23~3.30)

第4回 稲敷市青少年親善大使海外派遣団

団長 関川 昭 (東中学校校長)
 指導員 岩崎 哲雄 (桜川中学校教諭)
 市村 美絵 (江戸崎中学校教諭)

親善随行者 岡野福次郎 (姉妹都市交流委員会)

福島 光樹 (中2 上根本)	飯岡 彩花 (中2 上根本)
萩原 拓也 (中2 上根本)	野友 翔太 (中2 上根本)
鴻巣 誠 (中2 上根本)	野口 大輔 (中2 下根本)
田中 陽菜 (中2 伊崎)	岡村 知夏 (中2 伊崎)
佐藤ミシェル (中2 角崎)	佐藤 花梨 (中2 柴崎)
栗山 恵圭 (中3 柴崎)	手塚 葉 (中3 伊佐津)
手塚裕之介 (高3 伊佐津)	篠塚奈津紀 (高3 下太田)
高木 彩奈 (中1 浮島)	黒田 奈樹 (中3 浮島)
大和田恵佑 (高1 上須田)	甲賀あすか (高2 東大沼)
根本 彩花 (高2 橋向)	

—派遣事業に参加して—

栗山 恵圭

初めての海外に私は楽しく思う反面、不安な思いがありました。しかし、サーモンアームのきれいな景色と親切な人達と出会い不安な思いはすぐになくなりました。

ホストファミリーの方々もとても優しく毎日がとても楽しかったです。とても貴重な体験ができて嬉しかったです。

大和田 恵佑

今回初めて外国へ行き、最初は言葉も分からなく不安が募るばかりでしたが、現地の人々の温かい歓迎もてなしを受け次第に不安は解消されていきました。また、私は音楽で言葉の壁を越えられることを知りました。カナダへ行ったことは、私にとって最高の経験になりました。行かせてくれた両親や祖父に感謝をしたいと思います。

—受入れ事業に協力して—

飯野 琴美

私は受け入れて、なんでも挑戦したり、好奇心あふれるドーン・フーパーさんと出会いました。“相手が日本語を話せなかったら”、“自分の英語が通じなかったら”と受け入れ前は不安でしたが、実際に彼女に会えると不安が嘘のように消え、楽しい一週間を過ごせました。彼女に会え、英語を学ぶことが出来て、本当に良かったです。

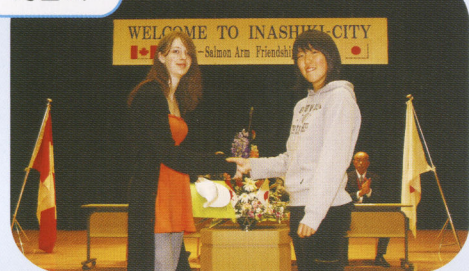
中島 健次

私は今回のカナダ使節訪問団の受け入れで、コールという男の子と出会いました。コールは、恥ずかしがり屋で人見知りする子だったので、少し戸惑いましたが、一緒にディズニーランドに行ったりして仲良くなれました。少しの間でしたがコールと出会えて良かったです。

第3回 受入れホストファミリー名簿

飯塚 悠貴 (中1 伊佐津)	中島 健次 (中3 浮島)
黒田 和輝 (高1 浮島)	木内 幹治 (中2 寺内)
藤田 武士 (中2 堀川)	飯田 雄大 (中2 上根本)
高野友士朗 (高3 上根本)	手塚裕之介 (高2 伊佐津)
足立 直紀 (高1 犬塚)	平良 亮 (高1 沼田)
優仁フィアロー (高1 成田市)	細谷 亮輔 (高2 土浦市)
黒田 葵 (中1 浮島)	山田 真実 (中2 浮島)
坂本 彩 (中1 四箇)	青野 仁美 (中1 四箇)
松田 梨花 (中1 岡飯出)	根本 明美 (中2 須賀津)
根本菜奈子 (中2 神宮寺)	坂本あかね (中1 上之島)
廣瀬美沙紀 (高2 市崎)	坂本 江身 (中3 椎塚)
飯野 琴美 (中3 江戸崎甲)	吉田 薫 (一般 伊佐津)
小川喜三雄 (一般 光葉)	黒田 保彦 (一般 上須田)
岡野福次郎 (一般 伊佐津)	田中久弥子 (一般 江戸崎甲)

対面式



はじめまして ヨロシク!

中学校交流会



うまく書けましたね!

体験プログラム



竹馬に挑戦



ディズニーシー



腰がはいってます

さよならパーティ



あんばばやしのお囃子に乗って♪~



何を弾いているのかな



見て! 晴れすがた



Abbott さんご夫妻

素晴らしい体験

2008 年親善使節団

団長 Jeff Abbott

I feel privileged to have had the opportunity to travel to the wonderful country of Japan. While in Japan I was impressed by many parts of the Japanese lifestyle and

culture. The history of Japan is very rich and I found myself fascinated by the traditions, sites and celebrations. Many of the things we did and places we saw could never be experienced in North America and I learned a great deal about the Japanese culture from my participation in this program. It was also a great honor to host members of the exchange program on their trip to Canada. We all took great pride in the many riches of our country, particularly its natural beauty. Of all the many aspects of the exchange that I enjoyed, the greatest was spending time with the Japanese people. My experience taught me that although we have many differences, we are also alike in many ways and we all care deeply about peace and the environment. I thank the people of Inashiki for their wonderful hospitality and kindness, we were all blessed to have been a part of this program.

(要旨) 日本滞在中、日本の生活様式と文化の様々な面に感銘を受けました。日本の歴史はとても豊かで、その伝統、建造物、儀式に魅了されました。この交流事業に参加することで、カナダでは体験することのできない体験ができ、日本の文化について多くのことを学ぶことができました。この交流の中で最も素晴らしかったことは日本人々と過ごしたことです。我々には様々な違いがあるけれど、平和と環境について我々は皆深く気に掛けているなど多くの面で似ているということを自分の経験から学びました。稲敷市の人々の素晴らしいもてなしと親切さに感謝しております。

INFORMATION

○サーモンアーム市親善使節団が来日します

3月24日から3月31日までの間、カナダ・サーモンアーム市より親善使節団が稲敷市を訪れ、ホームステイにより市民の皆さんと交流を深める予定です。見かけたら気軽に声をかけてください。

○「友情の家」貸出しています

交流の一環としてサーモンアーム市から贈られた「友情の家」(あずま生涯学習センター隣)では、バーベキュー等が楽しめます。利用希望者は、あずま生涯学習センター：0299-79-0053へお申し込み下さい。

○会員募集！あなたも国際交流しませんか？

稲敷市では国際交流に関わる各団体の会員を募集しています。

・姉妹都市交流委員会

姉妹都市派遣事業、ホームステイ受入事業など稲敷市の実施する幅広い姉妹都市(サーモンアーム市)との活動に協力し、民間交流活動を展開しています。

・日本語サークルかぼちゃ

毎週水曜日、昼と夜の2回、市内及び近隣に住む外国人を対象に、日常会話を中心とした日本語を教える活動をしています。

※問い合わせ・申込みは企画課(029-892-2649)まで

○稲敷市ホームページをご覧ください

稲敷市が姉妹都市交流委員会等の協力を得て実施する姉妹都市交流事業(海外派遣・受け入れ)の記録等については、稲敷市HP<http://www.city.inashiki.lg.jp/>内(部課→企画課)に掲載されております。

青少年親善大使派遣、サーモンアーム使節団受け入れの募集についても、広報紙と併せてホームページにて公募致します。

サーモンアームでのホームステイ体験

根本 安里(高1)・松田 麗(高1)

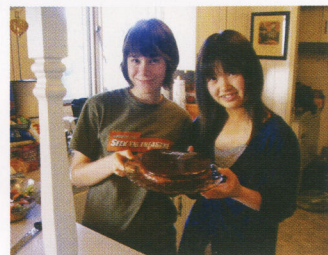
Q 2人でのプライベートなホームステイ そのきっかけは？

根：3年前に青少年親善大使の団員として行ったときに、とてもいい体験ができたのでもう一度カナダに行って文化に触れたいと思いました。

松：派遣団として行ったときには先生や周りの人に頼ってしまうけど、自分達だけで行くことにより、どれだけできるのかチャレンジしてみたいという思いがありました。

Q 異文化に触れて特に印象に残ったことは？

松：日本とはいろいろな面でスケールが違います。食べ物も飲み物もみんな大きかったです。ステイ先でファミリーと一緒にケーキを作った時も、バターを大きい包みで丸ごと入れたり、日本とは比べものにならないほどの量を入れていて、とてもダイナミックでした。



根：スーパーで買い物をしたときにはビックリしました。カナダではお金を払う前に食べたり飲んだりして、そのまま会計を済ませていました。カナダの人たちは自由で寛大なのだと思いました。

Q 3週間のホームステイを体験して感じたことや勉強になったことは？

松：普通に教科書で勉強するよりも、実際の会話の中で学ぶことの方が多いと思います。会話の中で使う会話は自然に覚えられました。でも言葉が違って面白いとか楽しいと思うことは同じだし、英語が上手に話せなくてもすぐに仲良くなれました。

根：日本とは違った生活や文化の中で生活することによって価値観



が変わりました。色々なことに興味がでて視野が広がったと思います。カナダのおおらかな人々と接していると、今までの悩みも大したことないな、と思えました。是非みんな一度は行ってみるべきです！

編集後記

稲敷市誕生から4回目の広報紙を発行することができました。18年度からは文化祭の展示部門にも参加し、広報活動も順調に進めてまいりました。その結果、事業への関心がだいぶ浸透してきたように思います。受け入れ行事の内容も従来、観光中心に偏りがちでしたが、体験を重視するようにしてきました。参加した生徒たちの楽しそうな表情、交流の素晴らしさをお伝えすることで、多くの方々の参加への一助となるよう委員一同務めて参ります。(高城)

編集：姉妹都市交流委員会広報委員
稲敷市企画課国際交流担当